

	A	B	C	D	E
1					
2					
3		品名	単価	個数	金額
4		鉛筆	100	20	2,000
5		消しゴム	50	5	250
6		ボールペン	150	30	4,500
7		合計			
8					

前回の季刊誌「OA部」では、各品の金額を計算しました
 今回は合計金額の計算方法です

	A	B	C	D	E
1					
2					
3		品名	単価	個数	金額
4		鉛筆	100	20	2,000
5		消しゴム	50	5	250
6		ボールペン	150	30	4,500
7		合計			=E4+E5+E6
8					

計算するには、まず『=』(イコール)と入力です。

合計は鉛筆+消しゴム+ボールペンなので、「=E4+E5+E6」です

しかし、これでは品名が増えた場合(例えば100種類とか1000種類)
 セルの入力やクリックは大変です。

そこで関数を使います

エクセルには、様々な計算を自動で行ってくれる関数があります

合計を求める関数もあります

合計を求める関数は、「SUM関数」です
「SUM」とは、合計、総計、総額という意味です。

「数式」→「関数の挿入」→関数の分類「数学/三角」→「SUM」

The screenshot shows the Excel ribbon with the 'Formulas' tab selected. The 'Insert Function' button (fx) is circled in yellow. The 'Insert Function' dialog box is open, showing the 'Math/Trigonometry' category selected. The 'SUM' function is highlighted in the list. A yellow arrow points to the 'SUM' function name.

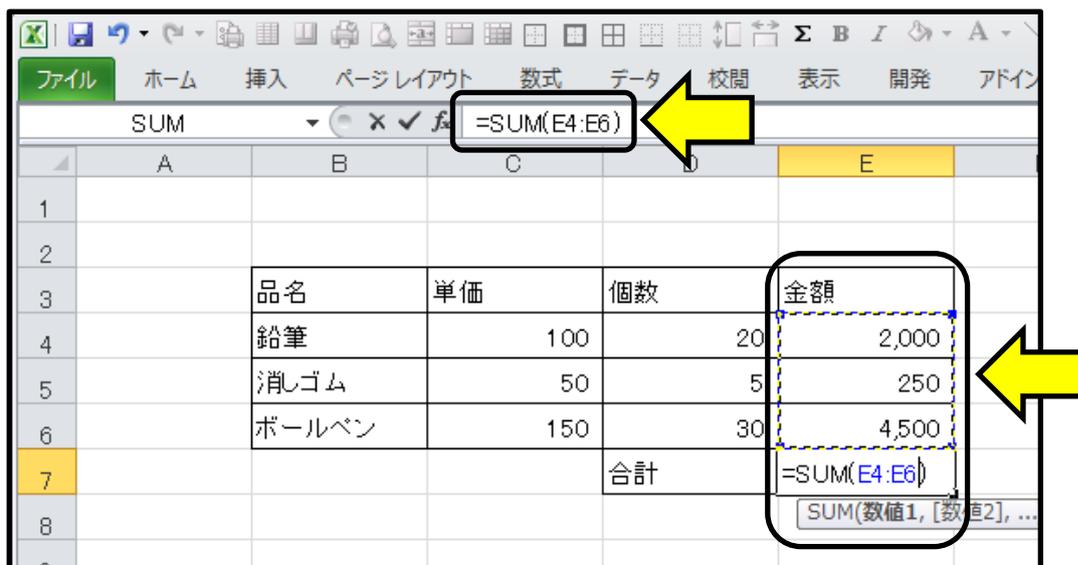
	品名	単価	個数	金額
3				
4	鉛筆	100	20	2,000
5	消しゴム	50	5	250
6	ボールペン	150	30	4,500
7			合計	

「数式」→「Σ (オートSUM)」

The screenshot shows the Excel ribbon with the 'Formulas' tab selected. The 'AutoSum' button (Σ) is circled in yellow. A yellow arrow points to the 'AutoSum' button.

	品名	単価	個数	金額
3				
4	鉛筆	100	20	2,000
5	消しゴム	50	5	250
6	ボールペン	150	30	4,500
7			合計	

合計範囲を指定します(マウスでドラッグ)



直接「=SUM(E4:E6)」と入力してもOKです。

※SUMの後ろで計算範囲を「():カッコ」で囲む必要があります

